

特別支援教育推進委員会 ニュースレター

こんにちは。特別支援教育推進委員会です。秋模様となりました。みなさんいかがおすごでしょうか。今回は、現在の活動経過をご報告させていただきます。

特別支援教育研修会報告

テーマ「特別支援教育に携わる作業療法士の実践！」

講師 神奈川県座間養護学校 本間嗣崇氏（作業療法士）

子どもたちに携わっていくために必要な知識を学ぶ機会として、8月10日に開催しました。

参加者は、会員、非会員、学生を含め、30名でした。前半は講話、後半はグループワークを行いました。前半の講話では、神奈川県の養護学校では、「特別免許状制度」というのがあり、OTの資格のみで教員採用試験が受けられるとの事や、自立活動教諭（専門職）の業務として、①自立活動の指導助言、②個別教育計画の作成・評価の参加、③地域の小中学校への巡回相談等であることをおしえていただきました。教員のイメージする教育の現場とOTとは価値観が違う（OTは個を中心、教員は集団運営が優先）ことを知りながら協働する姿勢が必要であること、巡回相談の際には訪問前や訪問中の色々な情報源を捉えることの大切さなどについて視点を教えて頂きました。

グループワークでは、支援学級に所属する小学生の画像を基に、様々な場面での様子を見ながらアセスメントを共有し、学校の先生とのやりとりを想定した助言内容等について意見を出し合い、ディスカッションしました。

教員へ寄り添い、情報が少ない中でも臨機応変に対応できるスキルも大切であることを学びました。

特別支援学校見学同行について

一緒に特別支援学校を見学してみませんか？

学校毎の日程等については、県士会HPに掲載しています。学校によって校風やお子さんの状況等で雰囲気異なります。なんといっても学校の先生の大変さ、すごさも感じることができます。ぜひこの機会に、たくさんのご参加をおまちしております。（宮城県作業療法士会の会員のみが対象となります）

（実施の支援学校）
気仙沼・山元・光明
船岡・小松島松陵
・・・5校

仲間募集

子どもに携わる県士会員は少数ですが、子どもの支援に興味のあるOTは多いのではないかと思います。ぜひ興味のある方は当委員会へご一報下さい！お待ちしております。

連絡先：fhonda@rehab.tbgu.ac.jp



★宮城県の福祉情報★ 宮城県公式HPより

宮城県では、発達障害のある方とご家族が安心して生活できる地域づくりを推進するため、令和元年度から障害保健福祉圏域ごとに支援拠点である『発達障害者支援センター』を設置し、そこへ「発達障害者地域支援マネジャー」を配置し、市町村の体制づくりを行っています（「発達障害者地域支援マネジャー」は、主に心理職カリハ職を採用）。宮城県全域の三次支援機関は、障害児（18歳未満）は宮城県子ども総合センター、障害者（18歳以上）は宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」となっています。各機関が専門性を高め、保健、医療、福祉、教育、就労等のネットワークを構築し、県民ニーズへ対応することが基本方針となっているとのことです。